



佐藤さんのキャベツ



大変な状況でも「まあ、こんなことは毎年は起きないよ」と前向きに笑顔を絶やさず頑張る佐藤さん。



「注文に応えられるよう頑張らないとな」と毎日、畑を飛び回っています。



広大なキャベツ畑の支柱を1から全て立て直し、防虫ネットを張り直した結果、見事なキャベツが育ちました。

★台風後に頑張った結果です

今年は長梅雨、台風、そしてここ1ヶ月は長雨が続くなど天候不順が続いています。気温も高かったので虫も多く葉物全般に被害が出ています。そんな中で佐藤さんは見事なキャベツを出しています。

キャベツは8月に種を蒔いているので、ちょうど苗が育っているときに台風が直撃しました。幸い、防虫ネットが風除けになり苗は吹き飛ばされることはありませんでした。しかし、風を受けた防虫ネットや支柱は全てなぎ倒されてしまったのです。

「台風で5反歩（約1,500坪）全部、支柱ごと倒されちゃったんだよ。3日間は呆然としていたよ。でも、お客さんの事考えたら野菜を切らず訳にはいかないしよ、全部支柱からやり直したんだよ。今、見るだけなら見事なキャベツかもしれないけど、台風の時は大変だったんだよ」

他にも1.5反（約450坪）のカブの畑の傾いた支柱を直すなど、とにかく台風後に気持ちを奮い立たせて立て直しを行った結果、虫の被害が少ない見事な野菜が出来ました。

「本当に今回の台風は凄かったよな。まあ、果樹をやっている仲間がいるけど、木が折れて復活するまで何年もかかるそうだよ。それに比べたら野菜の被害はあっても半年で済むからな。まあ、みんな頑張っているから俺も頑張らないとな」

大変な被害にも会いながらも前向きに頑張った結果、例年通りに見事なキャベツが出来ました。佐藤さんの気持ちに応えるべく、今年も沢山ご注文して下さいね。

おかげさま農場は「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

【産地情報】

◎葉物全般が台風で弱っているところに雨続きで光合成が出来ず、気温が高めで虫の活動が納まらない等、大変な状態が続いています。そのため、葉物のある程度の虫食いはご理解を頂きますようお願い致します。